

3

A long time ago, there lived a woodcutter and his wife in a house lying at the foot of a mountain.

They have two children: the older child is called Hansel and the younger one is called Gretel.

They are very close siblings.

One year, the country experienced very cold weather. All the crops died and people were having difficult times due to starvation and cold temperature.

At the woodcutter's house, their wood had also run out and it was becoming increasingly harder to feed the whole family.

So, the woodcutter and his wife decided to go to a deep area of the forest and leave their children there.



5

The two, Hansel and Gretel were left in the forest. They held hands and started walking together.

“Hey Hansel, I’m so hungry. I want to go home.”

“It’s okay Gretel, everything will be fine. Let’s go home.”

Hansel had been dropping small pieces of bread on the road when they were taken out to the forest by their parents.

The two followed the track of bread pieces to find their way through the forest.



むかし むかし、とある やまの ふもとに、
きこりの ふうふが すんでいました。
ふうふには、ふたりの こどもが いました。
あにの『ヘンゼル』と、
いもうとの『グレーテル』です。
ふたりは とてもなかのいい きょうだいでした。

あるとし、くにに ひどい かんきが
やってきて、さくもつは みな かれてしまい、
ひとびとは うえと さむさに
くるしんでいました。
きこりの いえでも たべものが そこをつき、
もう かぞくで くらしていくことが
むずかしくなって しまいました。

そこで きこりの ふうふは、
もりの おくへ 行って、こどもたちを
おいてきてしまうことに したのです。



おいていかれた ふたりの きょうだいは、
てを つないで あるきはじめました。

「ねえ おにいちゃん、おなかすいたよ。

おうちに かえりたい」

「だいじょうぶだよ、グレーテル。

ぼくに まかせて。

いっしょに いえに かえろう」

ヘンゼルは ここに つれてこられた とき、
かくしていた パンを すこしずつ ちぎって、
みちに おとしてきたのです。

ふたりは、みちに おちている パンくずを
めじるしにして、あるいていきました。

